



3月31日、有珠山が23年ぶりに噴火しました。山麓を走る一般国道230号は噴火口群の中に取り込まれ、また、高速道路も被災していづれも通行不能になりました。

当センターでは、北海道大学の角田教授を委員長とし、道内の各大学等の先生方や北海道技術士センターに所属する技術士の方々で構成する「道路管理技術委員会」でこの噴火災害に調査班を派遣することになりました。さっそく4月15日及び16日の両日にわたってメンバーが現地に行き、ヘリコプターで状況を把握したところであります。当面は国道の早期復旧に向けた現地における助言及び今後のこの地域における国道管理に関する助言を行いたいと考えております。

今回の噴火では、幸いにして噴火予知が成功し、被害が予想される地域の住民すべてが事前に避難することができました。しかし、噴火後3カ月余を経て徐々に避難区域が解除されてきているものの、いまなお多数の住民が避難所や仮設住宅で不自由な避難生活を余儀なくされております。被災された皆様方に対して心からお見舞いを申し上げますとともに、火山活動の一日も早い終息をお祈りしております。

編集後記

From Editorial Room

●「17歳」残念なニュースが多い今日この頃です。

これも、大量消費の時代が誕出した副産物なのでしょうか。私自身同世代の子を持つ父として、愛情と責任を持って接することの大切さを考えさせられます。

資源や物についても個人の責任、物を大切にする心が「循環型社会の実現」の基本になるのではないでしょうか。

K.K.

●開発土木研究所道路部で建設工事を進めてきました寒地試験道路が苦小牧東部地区に完成しました。2車線と4車線

の直線道路がそれぞれ約1.2kmもあり全長約2.7kmの周回路になっています。交通安全対策、ITS関連の試験、機能性舗装の効果の確認などがこの試験道路で行われます。

これを活用した試験研究内容について皆さんからのアイデアも募集しています。積雪寒冷地の道路技術向上のため、皆さんも研究に参加しませんか。研究所は来年度から独立行政法人になります。今以上に利用し易くなると思います…。是非とも見学（下見）して見て下さい。

M.T.